

ネイチャー・ウォーク

ECO  SAITAMA

公益財団法人

埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

令和7年5月

2025. 5. 25 発行

(通巻第375号)

■ 4月のネイチャー・ウォーク

渡良瀬で皆が見つけて幸(コウ)ノトリ

JR 宇都宮線野木駅～部屋南部桜つつみ公園バス停

2025年4月20日(日)のネイチャーは、JR 宇都宮線の野木駅を出発し、渡良瀬遊水地まで歩くコースです。当日は歩きやすい天候で、20名の方に参加いただきました。

渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の前で記念撮影！





今回のテーマは、コウノトリ。渡良瀬遊水地では、2020 年から 6 年連続で繁殖に成功しています。まずは思川をわたり、交流館へと向かいます。思川の河川敷では、何とイノシシが見られました。一同、橋の上から観察。



渡良瀬遊水地コウノトリ交流館に到着。交流館の敷地内には、コウノトリや巣の模型が置かれています。渡良瀬遊水地に生えるヨシなどを使って、コウノトリが巣（直径 1.8m）をつくっていることを、教えていただきました。



続いて館内で、映像を見ながら、コウノトリについて詳しく教えていただきました。右の写真は、コウノトリと同じ重さの人形を、持ち上げているところ。コウノトリは、体長 1 m、重さ 4～5kg と、なかなか大きな鳥です。



交流館を出発して、いよいよ渡良瀬遊水地でコウノトリを観察。遊水地でも、交流館の方に解説をいただきました。ありがとうございました！ちなみに右の写真は、道中で見られたアオサギ。コウノトリとよく間違われます。



コウノトリの親が巣塔に戻って、ヒナに食べ物をあげているところを、運よく観察できました。交流館の方のお話では、コウノトリは完全肉食で、1日に500g、ヒナは何と1日に1kgの生きものを食べるそうです。コウノトリが毎年、繁殖しているということは、それだけたくさんの生きものがすめる環境が守られているということですね。



最後は、お昼ご飯を食べて、恒例の「Walk（多く）出現認定証」の表彰！

皆さん、お疲れ様でした。
ネイチャー・ウォークでは、今年度も、県内外の様々な自然・文化を見て歩きます。
今後とも、よろしくお願いいたします。